

藤華医療事務専門学校

2026年度 第1回学校関係者評価委員会 報告書

1. 日 時 2026年5月28日（木） 15:30～16:50
2. 場 所 藤華医療事務専門学校 校長室
3. 出席者 鯉越英夫委員、園田幸吉委員、奥田宏学校長

4. 次 第

(1) 学校長挨拶

(2) 委員紹介

(3) 2026年度学校関係者評価委員会について

- ・学校関係者評価細則の委員会の目的や役割等の確認を行う。
- ・本校学生及び教職員の学校自己評価について、アンケート結果の説明を行った。また、学生（3名）からの意見聴取を行い、それを受けて、各委員からの質疑応答という形式で審議が進められた。

(4) 意見交換

○学生からの意見聴取について

- ・学生からは、教員との距離が近く信頼していることが伝わってきた。学校の雰囲気が良いといつも感じている。学校の規模的にも、お互いに誠意をもって付き合える状況にある。
- ・また、学生が自分の思いを、言葉にして伝えることができています。この学校で成長することができたのではないかと。自分の成長を実感できる良い環境である。
- ・学生が本校を選んだ理由の一つに、オープンキャンパスの印象が良かったことが挙げられていた。教員だけでなく、学生が中に入り、高校生・保護者に対して、ありのままを伝えることができており、信頼感を持たれている。今後も続けてもらいたい。

○学生募集について

- ・学生募集には最も力を入れてもらいたい。大学進学率の上昇や少子化もあり、大分のような地方都市では、専門学校よりも、短大、4年制大学へという流れがある。その中に入り込むためには、思い切ったこともやっていかなければならない。
- ・2年間のカリキュラムで、医療機関が必要とする力がついているか整理する必要がある。

○教育内容について

- ・4分野（医科医療、介護保険、歯科医療、調剤薬局）は本校の特色だが、全員に4つすべて取らせるのがよいのか検討も必要。1年次は満遍なく学び、2年次で絞るという方法もある。高校でも、2年からコースで学ぶというところもある。
- ・研究授業などで、教員がお互いの授業を見あうことが大切。ぜひやってもらいたい。
- ・生成AIを取り入れる必要はあるが、使い方を間違えると力につかない。どのような使い方がよいのか、教員間で議論しながらやってもらいたい。